

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふくろう広場IWAMOTO		
○保護者評価実施期間	2025年2月17日		～ 2025/2/28
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	101人	(回答者数) 60件
○従業者評価実施期間	2025/2/17		～ 2025/2/28
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	30人	(回答者数) 7件
○事業者向け自己評価表作成日	2025/3/13		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	原始反射やその感覚統合について科学的なアプローチから療育を計画して行なっていること	子ども1人1人のチェックリストを活用し、その子にあったプログラムを考え実践していること	職員自身が原始反射や感覚統合について見解を深め、自ら新しいプログラムを提案できるようにする
2	音楽療法やBCエクササイズを取り入れ、他の教室にはない方法で療育にアプローチしていること	日頃の活動の中に音楽を取り入れたり、体を動かす活動を取り入れたりすることによって感覚を刺激し、より上位の行動や知覚にアプローチできるようにしていること	プログラムが一定化しないように、日々新しい活動を取り入れ、様々な感覚が刺激されるような取り組みを行うようにする
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員によって子どもへの関わり方や保護者との連携の深さに違いが出てしまうこと	子どもを看るのが得意な職員や保護者と関わるのが得意な職員など、職員の長所によって関わりやすい部分に力を注いでしまっている。また、職員がどのように療育に取り組もうとしているかが固定化してしまっている。	職員全体でコミュニケーションを取るような研修を取り入れる。また、自分の得意とする部分を他者に共有し、職員全体の品質を均一にする。
2			
3			